

れいわねんどかいよこはまししょうがいしゃしさくけんとうぶかい
令和7年度第1回横浜市障害者施策検討部会

にちじ れいわ ねん がつ にち きんようび ご ご じ ご ご じ ふん
日時：令和7年5月30日（金曜日）午後2時から午後3時30分まで

ばしょ よこはまし し ちょうしゃ かい かいぎしつ
場所：横浜市市庁舎18階みなと1・2・3会議室

し だい
《次 第》

かいかい
I 開会

しょうがいふくしほけんぶちょう 2 障害福祉保健部長あいさつ

3 報告事項

- (1) 第5期障害者プラン策定にかかるグループインタビュー等の実施について
- (2) 令和7年度感震ブレーカー等設置推進事業及び家具転倒防止対策助成事業のご案内について
- (3) 就労選択支援について

4 その他^た

はいふしりょういちらん
【配付資料一覧】

資料Ⅰ 第5期障害者プラン策定にかかるグループインタビュー等の実施について

資料2

れいわ ねんどこかんしん どうせっちすいしんじぎょうおよ か ぐてんとうぼうしたいさくじよせいじぎょう あんない

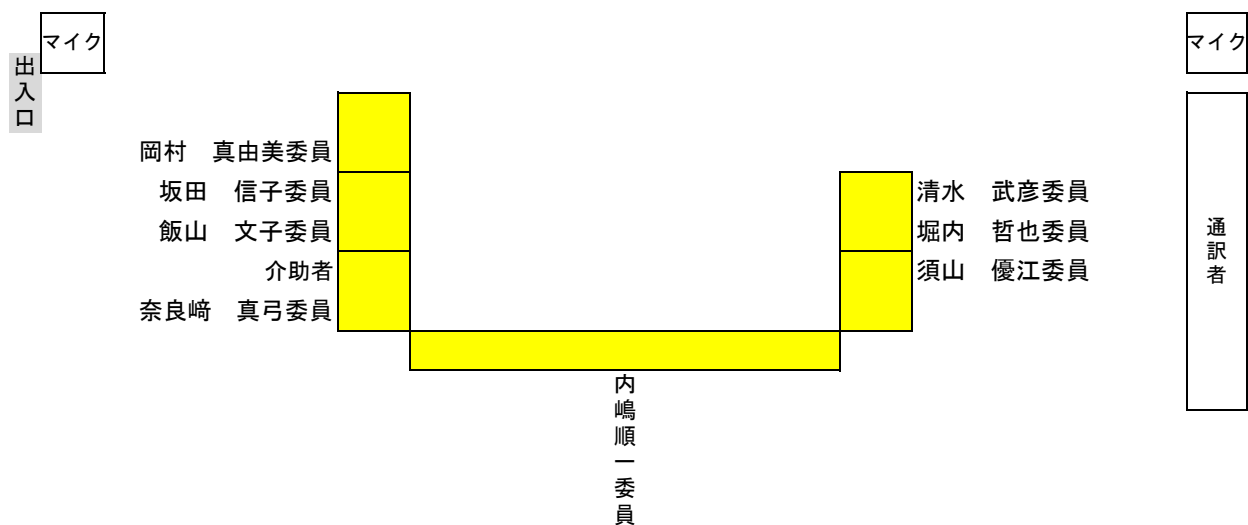
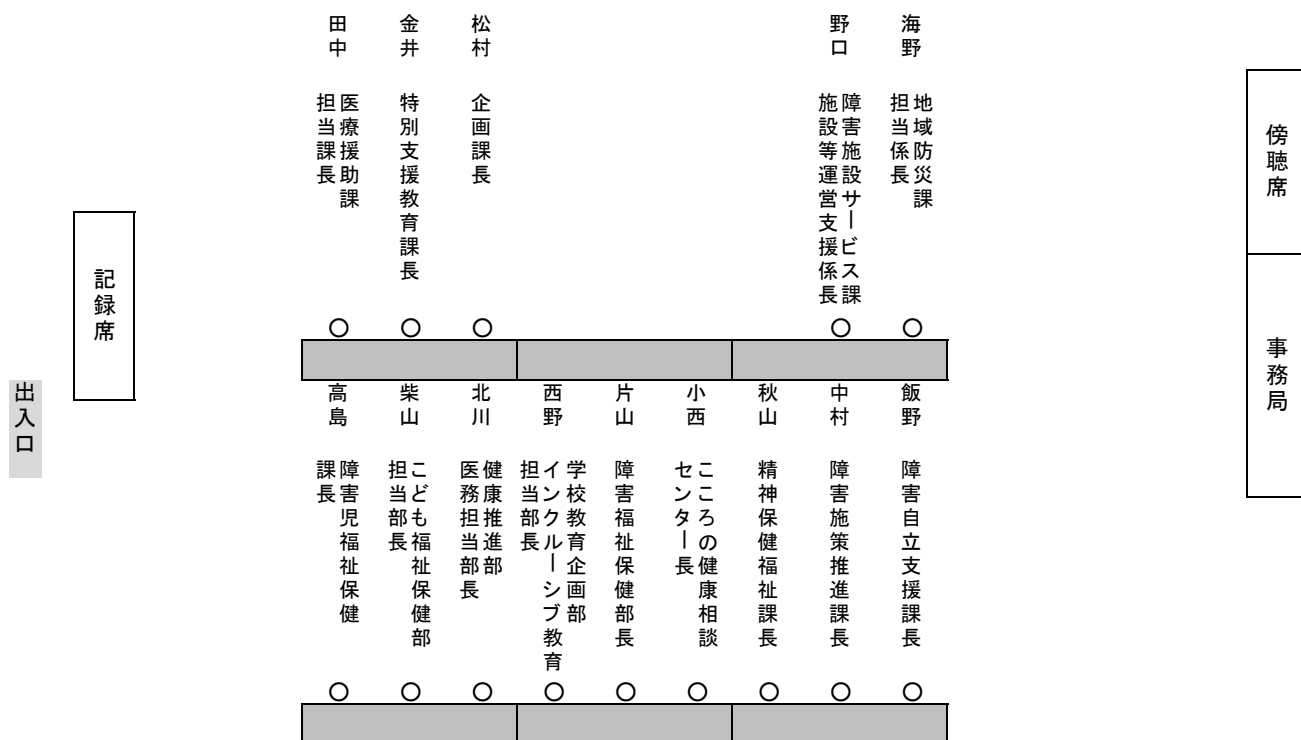
令和7年度感震ブレイカー等設置推進事業及び家具転倒防止対策助成事業のご案内に

ついて

資料3 就労選択支援について

令和7 年度第1 回横浜市障害者施策検討部会座席表

令和7年5月30日(金曜日)午後2時～午後3時30分
横浜市庁舎みなと1・2・3



よこはまししょうがいしゃさくけんとうぶかい
横浜市障害者施策検討部会

いいんめいぼ
委員名簿

れいわ ねん がつ にち
(令和8年7月13日まで)

	しめい 氏名	しよぞく 所属
1	あかがわ まこと 赤川 真	よこはまし れんらくかい 横浜市グループホーム連絡会会長
2	いいやま ふみこ 飯山 文子	よこはまちてきしょうがいかんれんしせつきょうざikai ふくかいちよう 横浜知的障害関連施設協議会 副会長
3	うちじま じゅんいち 内嶋 順一	しゃかいふくしほうじんよこはまししゃかいふくしきょうざikaiしょうがいしゃしえん たんとおりじ 社会福祉法人横浜市社会福祉協議会障害者支援センター担当理事
4	おかむら ま ゆみ 岡村 真由美	とくていひえいりかつどうほうじんよこはましせいしんしょうがいしや いきせいかつし えんれんごうかいふくだいひよう 特定非営利活動法人横浜市精神障害者地域生活支援連合会副代表
5	お の たかとし 小野 孝俊	よこはまし じんゆうかい じむきよくちよう 横浜市腎友会 事務局長
6	かわい たかとし 河合 高鋭	つるみだいがくたんきだいがくぶほ いく かじゆんきようじゆ 鶴見大学短期大学部保育科准教授
7	さかた のぶこ 坂田 信子	よこはまししんしんしょうがいじしゃ まち かいれんめいじむきよくちよう 横浜市中心身障害児者を守る会連盟事務局長
8	しみず たけひこ 清水 武彦	かながわけんりつせ や しえんがっこうちよう 神奈川県立瀬谷支援学校校長
9	すやま まさえ 須山 優江	よこはましちゅうとしつちよう なんちようしきょうかい かいちよう 横浜市中途失聴・難聴者協会 会長
10	ならざき まゆみ 奈良崎 真弓	にじいろうでG0!かいちよう にじいろうでG0!会長
11	ほりうち てつや 堀内 哲也	ほうじんがたちいきかつどう れんらくかい しゃかいふくしほうじんどうあいかい ちいきかつどう どうかつしせつちよう 法人型地域活動ホーム連絡会（社会福祉法人同愛会つつき地域活動ホームくさぶえ統括施設長）
12	やすとみ ひでよ 安富 英世	とくていひえいりかつどうほうじんよこはましせいしんしょうがいしやかぞくれんごうかいふくりじちよう 特定非営利活動法人横浜市精神障害者家族連合会副理事長

令和7年度 横浜市障害者施策検討部会事務局名簿

区分	局名	補職名	氏名
事務局	健康福祉局	障害福祉保健部長	片山 久也
		健康福祉局担当部長(こころの健康相談センター長)	小西 潤
		健康推進部医務担当部長(医療局総務部医務担当部長)	きたがわ ひろなお
		健康推進課長	くりはら あすか
		健康推進課担当課長	ざいつ たかし
		障害施策推進課長	なかむら つよし
		精神保健福祉課長	あきやま なおゆき
		障害自立支援課長	いいの まさあ
		障害施設サービス課長	おおつ ごお
		企画課長	まつむら たけや
		医療援助課担当課長	たなか 康之
	こども青少年局	こども福祉保健部担当部長	しばやま かずひこ
		障害児福祉保健課長	たかしま ともこ
	教育委員会事務局	学校教育企画部インクルーシブ教育担当部長	高島 友子
		特別支援教育課長	にし の ひとし
事務局担当	健康福祉局	障害施策推進課施策調整係長	かわはた はやと
		障害施策推進課計画推進担当係長	富田 倫子
		障害施策推進課指定・システム担当係長	よねやま のぞみ
		障害施策推進課担当係長	ねぎし そう
		障害施策推進課共生社会等推進担当係長	おばた ゆめこ
		障害施策推進課相談支援推進係長	わたなべ ひろみ
		障害施策推進課担当係長	まつもと まゆ
		障害施策推進課区分認定係長	うめつ あやこ
		精神保健福祉課精神保健福祉係長	かづき まさき
		精神保健福祉課担当係長	くぼ ひろちか
		精神保健福祉課救急医療係長	まつし まさあき
		障害自立支援課福祉給付係長	の の ひろこ
		障害自立支援課居宅サービス担当係長	うめだ ひさよし
		障害自立支援課移動支援係長	やまもと いづみ
		障害自立支援課社会参加推進係長	ふじもり なるじ
		障害自立支援課就労支援係長	おおの さとる
		障害施設サービス課施設管理係長	なとう ひろかず
		障害施設サービス課整備推進担当係長	はたしな うすけ
		障害施設サービス課担当係長	な がと やすひろ
		障害施設サービス課地域施設支援係長	おいまつ たいち
		障害施設サービス課施設等運営支援係長	の の けいたろう
		障害施設サービス課共同生活援助担当係長	いけだ りゅうすけ
		こころの健康相談センター相談援助係長	いしかわ めぐみ
		こころの健康相談センター依存症等対策担当係長	まさの かおり
		こころの健康相談センター担当係長	よしだ ひろみつ
		企画課担当係長	さかい りょうすけ
	こども青少年局	障害児福祉保健課担当係長	かわかみ ともあき
		障害児福祉保健課整備担当係長	さかい ちづき
		障害児福祉保健課担当係長	すがわら まさのり
		障害児福祉保健課担当係長	すみよし たかひこ
		障害児福祉保健課担当係長	ながみ とおる
		障害児福祉保健課担当係長	やまだ かずき
		障害児福祉保健課担当係長	しまだ けいいち
	教育委員会事務局	特別支援教育課担当係長	の なか だいまけ
		特別支援教育課担当係長	の なか だいまけ
	関係局	地域防災課担当係長	うめの けんいち

第5期 横浜市 障害者 プラン 策定 に向けた グループインタビュー・当事者 ワーキングの 実施 について

「第4期 横浜市 障害者 プラン」は、令和3年度～8年度の6年間を計画期間としています。

計画期間の終了に先立ち、令和7年度から、「第5期 横浜市 障害者 プラン（令和9年度～14年度）」の策定に取り組んでいます。

策定に向け、7月以降、当事者、家族と障害関係団体等に対して、現状やニーズを把握するためのグループインタビューを行います。

また、10月以降、当事者がプランの内容等について検討や意見交換を行う、障害者プラン当事者策定検討会（旧：当事者ワーキング）を行います。

1 グループインタビュー

(1) 実施予定回数 約40回

<内訳> 当事者：約20回 家族：約10回 支援者：約10回

(2) 実施方法

時間：1団体につき1～2時間程度（※報酬はありません）

方法：6人程度のグループに分かれ、現状やニーズに関するグループワークを行う。

(3) 主なインタビュー事項（予定）

- ・第4期障害者プランの取組について
- ・第4期障害者プランに掲載していない取組について
- ・今後、本市が力を入れていくべき取組について

2 仮：障害者プラン当事者策定検討会（旧：当事者ワーキング）

障害者施策推進協議会の意見を踏まえ、当事者の意見が反映されたプランとなるよう、当事者で組織する「当事者策定検討会」を新たに設置します。

「当事者策定検討会」では、プランに関する構成や内容についてご意見をいただきます。

なお、この検討会の中で当事者ワーキングを実施します。

(1) 検討メンバー

以下の団体から御推薦いただくことを想定しています。

横浜市身体障害者団体連合会、横浜市心身障害児者を守る会連名、横浜市精神障害者家族連合会、横浜市障害者地域作業所連絡会、横浜市地域活動ホーム連絡会、横浜市グループホーム連絡会、横浜知的障害関連施設協議会、横浜市精神障害者地域生活支援連合会など

(2) 実施方法

時間：1回につき1～2時間 令和7～8年度にかけて4回程度実施

人数：1回あたり18名程度

(3) 検討事項（予定）

グループインタビューや当事者向けアンケート調査等の意見を共有し、プランの構成や内容を検討します。

※当事者策定検討会での検討内容は、障害者施策検討部会に報告します。

れいわ ねんどかんしん どうせっちすいしんじぎょうおよ
令和7年度感震ブレーカー等設置推進事業及び
か ぐ てんとうぼう したいさくじょせいじぎょう あんない
家具転倒防止対策助成事業のご案内について

1 趣旨

さいがい じ じじょ きょうじょ とりくみ れいわ ねんどかんしん どうせっちすいしん
災害時における自助・共助の取組として、令和7年度感震ブレーカー等設置推進
じぎょうおよ か ぐ てんとうぼう したいさくじょせいじぎょう じょうほうていきょう
事業及び家具転倒防止対策助成事業について情報提供します。

2 補助・助成制度等の説明

(1) 感震ブレーカー等設置推進事業

い か ようけん み せたい たいしょう かんしん かんいがた とりつけだいこう しえん
以下の要件を満たす世帯を対象に、感震ブレーカー（簡易型）の「取付代行」支援
じっし れいわ ねんど せいどがいよう きぐだいほじょがく
を実施しています。令和7年度からは、「イ 制度概要」にある【器具代補助額】
じゅうてんたいさくちいき かぎ きぐだい ぜんがくじょせい
重点対策地域に限って、「器具代」を全額助成します。

ア 取付支援対象者

どうきょしゃぜんいん か き
同居者全員が、下記①～⑥のいずれかであること

- ① さいいじょう
65歳以上
- ② しんたいしょうがいしゃてちょう こうふ う
身体障害者手帳の交付を受けている
- ③ あい てちょう りょういくてちょう こうふ う
愛の手帳（療育手帳）の交付を受けている
- ④ せいしんしょうがいしゃほけんふくしてちょう こうふ う
精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている
- ⑤ かいごほけんほう ようかいご また ようしえん にんてい う
介護保険法による要介護、又は要支援の認定を受けている
- ⑥ ちゅうがくせい い か
中学生以下

※ 「ちゅうがく そつぎょう かた さいい か かた せたい
「中学を卒業した方」から「64歳以下の方」がいる世帯については、
②～⑤に該当しない限り、制度対象となりません。

イ 制度概要

【申請期間】令和7年6月1日～令和8年1月31日

【申請対象】各世帯ごと

【器具代補助額】重点対策地域全額補助、その他地域一部補助

【取付支援】市内全域（高齢者・障害者等のみで構成される世帯）

【申込方法】郵送、FAX、E-mail、電子申請

※詳細は別紙感震ブレーカーのチラシをご確認ください。

(2) 家具転倒防止対策助成事業

以下の要件を満たす世帯を対象に、「家具転倒防止器具の取付代行」助成を実施しています。令和7年度からは、「取付代行」に加え、新たに「器具代」の全額または半額を助成します。

ア 対象者

同居者全員が、下記①～⑥のいずれかであること

- ① 65歳以上
- ② 身体障害者手帳の交付を受けている
- ③ 愛の手帳（療育手帳）の交付を受けている
- ④ 精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている
- ⑤ 介護保険法による要介護、又は要支援の認定を受けている
- ⑥ 中学生以下

※「中学を卒業した方」から「64歳以下の方」がいる世帯については、

②～⑤に該当しない限り、制度対象となりません。

イ 制度概要

【申請期間】^{しんせいきかん} 令和^{れいわ} 7^{ねん} 年^{がつ} 6^{にち} 月^{にち} 1^{れいわ} 日^{ねん} ～ 令和^{れいわ} 8^{ねん} 年^{がつ} 1^{にち} 月^{にち} 31^{にち} 日

【申請対象】^{しんせいたいしょう} 各世帯^{かくせたい}ごと

【申請要件】^{しんせいやうけん} 高齢者^{こうれいしゃ}・^{しょうがいしゃどう} 障害者等^{こうせい}のみ^{せたい}で構成^{こうせい}される世帯

【器具代補助額】^{きぐだいほじょがく} 重点^{じゅうてん}対策^{たいさく}地域^{ちいき}全額^{ぜんがく}補助^{ほじょ}、^た 其他^{ちいき}地域^{はんがく}半額^{ほじょ}補助

【申 込 方 法】^{もうしこみほうほう} 郵送^{ゆうそう}、^{ふあつくす} FAX、^{でんししんせい} 電子申請

※^{しょうさい} 詳細^{べっしか} は別紙^{ぐてん}家具^{ぼう}転防^{した}止対策^{たいさく}のチラシ^{かくにん}をご確認^{かくにん}ください。



別紙

感震ブレーカーの設置で 地震による火災を防ぎましょう



横浜市 設置サポート

横浜市のみなさんは**補助**があります！
重点対策地域は**全額補助**！それ以外の地域は**一部補助**します！

神奈川区、西区、中区、南区、磯子区の一部

Step1

自宅に「感震ブレーカー」
がついているか確認
3ページでご確認！

Step2

感震ブレーカー
を選ぶ

Step3

電子申請で申し込み 5分で完了！
(郵送・FAX でのお申し込みも可能です)



申請期間 令和7年6月1日～令和8年1月31日

※予算に達し次第、早期に終了となります。
申請はお早めに！

↓ 折り線①

9408790

新潟県長岡市稲保4-720-6
横浜市感震ブレーカー等設置推進事業
受託事業者
船山株式会社
行

必ず折り線に沿って
折り込みをして下さい。

← 折り線③

→ 折り線④

↑ 折り線②

最後にセロテープでここをしっかり止めてください。

なぜ感震ブレーカーが必要？

通電火災とは

- 停電から電気が復旧することによって発生する火災
- 電気ストーブ、アイロン等の電源が入ったまま再通電したことにより、接していた可燃物から出火
- 電気配線が損傷した状態で通電し、火花が発生し出火



Point

大地震の際、横浜市では火災による大きな被害が想定されています。*

焼失棟数 **77,700 棟**

※横浜市地震被害想定調査報告書(平成 24 年 10 月)より。元禄型 関東地震、冬場の 18 時に発生と想定。

Point

地震火災の 6 割以上は「電気」が原因*です。



※出火原因が確認されたもの。「大規模地震時の電気火災の発生抑制に関する検討会」報告書より。



※出火原因が確認されたもの。「大規模地震時の電気火災の発生抑制に関する検討会」報告書より。

そこで

地震火災の発生を抑えるために、「感震ブレーカー」を設置し、大切な命と住まいを守りましょう。

「感震ブレーカー」は地震の大きな揺れを感じて電気を自動で遮断する機器で、地震の際の電気火災の発生を抑制する効果があります。

※一般的なアンペア・ブレーカーや漏電遮断機とは異なります。

横浜市の
制度を
Check!

Check!

横浜市の制度

ご自宅に感震ブレーカーがついていない場合、この機会にぜひ設置をご検討ください。横浜市が器具代金や取付けをサポートします。

全額補助

重点対策地域の世帯の方は感震ブレーカーの器具代を全額補助します

- 対象商品 感震ブレーカー（3～4 ページの器具）
- 申請要件 右図の重点対策地域にお住まいの世帯の方
- 申請者負担額 横浜市が器具代金をすべて負担します。

一部補助

重点対策地域以外の世帯の方は感震ブレーカーの器具代を一部補助します

- 対象商品 感震ブレーカー（3～4 ページの器具）
- 申請要件 横浜市内にお住まいの世帯の方
- 申請者負担額 3～4 ページにてご確認ください。
※横浜市が、器具代金の一部を補助した後の金額となります。

取付代行

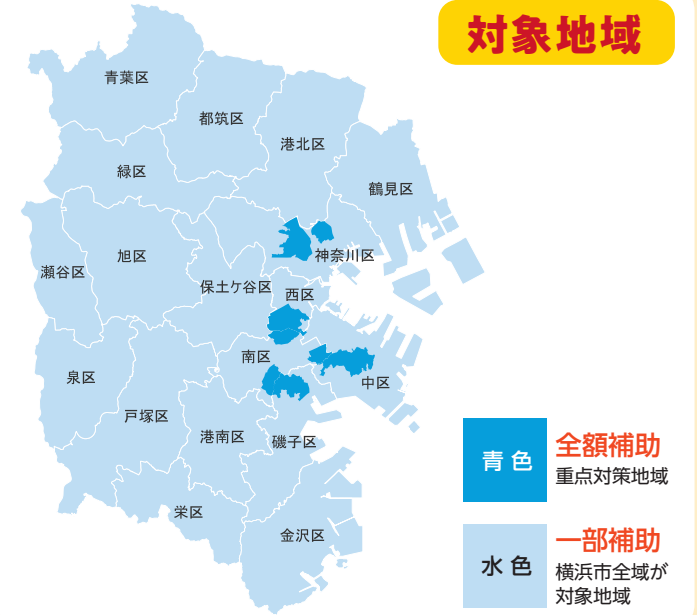
下記の要件を満たす世帯の方のみです。

- 申請要件 同居者全員が、下記のア～カのいずれかであること
- ア. 65 歳以上
- イ. 身体障害者手帳の交付を受けている
- ウ. 愛の手帳（療育手帳）の交付を受けている
- エ. 精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている
- オ. 介護保険法による要介護、又は要支援の認定を受けている
- カ. 中学生以下

※「中学を卒業した方」から「64 歳以下の方」がいる世帯についてはイ～オに該当しない限りこの制度の対象となりません。

補助件数 1,000 件（先着順）

対象地域



重点対策地域とは？

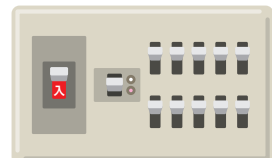
横浜市では、特に建物が密集しており延焼火災の危険性が高い地域を『重点対策地域』として定め、地震火災対策を重点的に行っています。

重点対策地域一覧

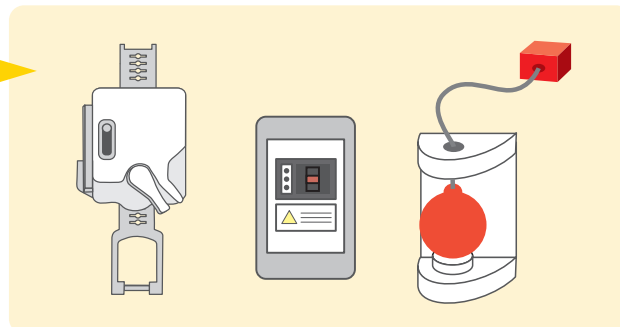
● 神奈川区	● 西区	千代崎町1丁目 千代崎町2丁目 千代崎町3丁目 千代崎町4丁目 寺久保 西竹之丸 西之谷町 初音町1丁目 初音町2丁目 初音町3丁目 英町 本郷町1丁目 本郷町2丁目 本郷町3丁目 本牧荒井 本牧町1丁目 本牧町2丁目 本牧満坂 本牧緑ヶ丘 簗沢 麦田町2丁目 麦田町3丁目 麦田町4丁目 矢口台 山手町 大和町1丁目 大和町2丁目 山元町1丁目 山元町2丁目 山元町3丁目 山元町4丁目 ● 南区	大岡3丁目 庚台 唐沢 山谷 清水ヶ丘 中村町1丁目 中村町2丁目 中村町3丁目 西中町4丁目 八幡町 伏見町 平楽 南太田1丁目 三春台 若宮町1丁目 若宮町2丁目 若宮町3丁目 若宮町4丁目 ● 磯子区
旭ヶ丘 浦島丘 神大寺1丁目 神大寺4丁目 栗田谷 斎藤分町 白幡上町 白幡仲町 白幡西町 白幡東町 白幡南町 白幡向町 中丸 西大口 西神奈川3丁目 二本榎 白楽 平川町 広台太田町 松本町1丁目 松本町2丁目 松本町3丁目 松本町4丁目 三ツ沢上町 三ツ沢下町 三ツ沢中町 六角橋2丁目 六角橋3丁目 六角橋4丁目 六角橋5丁目 六角橋6丁目	赤門町2丁目 伊勢町1丁目 伊勢町2丁目 伊勢町3丁目 老松町 霞ヶ丘 久保町 境之谷 中央1丁目 中央2丁目 西戸部町1丁目 西戸部町2丁目 西戸部町3丁目 西前町2丁目 西前町3丁目 浜松町 東久保町 藤棚町1丁目 藤棚町2丁目 元久保町 ● 中区	● 南区	磯子8丁目 岡村1丁目 岡村2丁目 岡村3丁目 岡村4丁目 岡村5丁目 岡村6丁目 滝頭1丁目 滝頭2丁目 滝頭3丁目 中浜町 久木町 広地町 丸山2丁目

Step1 自宅に「感震ブレーカー」がついているか確認 してみましょう

分電盤の近くに
このような器具は
ついていますか？

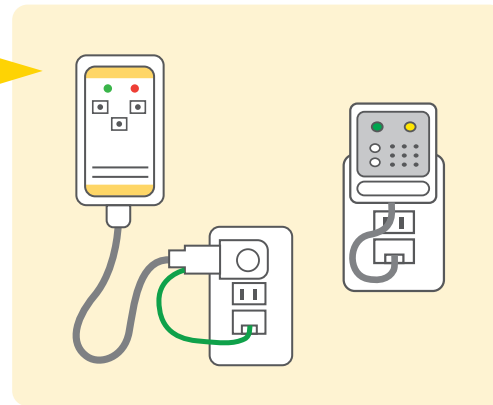


分電盤



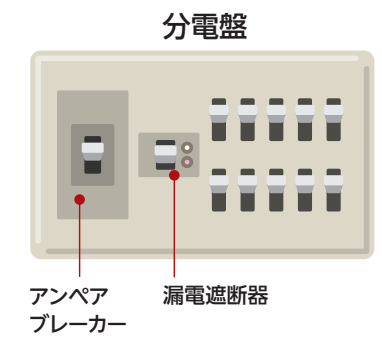
※上記のような外付け器具ではなく、分電盤自体に感震ブレーカーの機能が内蔵されているものもあります。

コンセントの近くに
このような器具は
ついていますか？



器具選びの注意点

ご自宅の分電盤周りやコンセントなどの状況によって、設置可能な感震ブレーカー（簡易タイプ）は異なります。



- 分電盤にブレーカースイッチが完全に見えなくなるふたがあるかどうか？
- ブレーカースイッチの周辺にスペースがあるかどうか？
- 漏電遮断器が付いているかどうか？
- コンセントにアース端子があるかどうか？

Step2 感震ブレーカーを選ぶ

感震ブレーカーを選ぶのにお困りの方は、ぜひお気軽にご相談ください！

コールセンター：0120-993-918
メール：info-yokohama-kanshin@funayama.co.jp

種類	バネ式		おもり玉式	コンセント差込式
製品名	ヤモリ	ヤモリ・デ・セット	スイッチ断ボールⅢ	Ki感震センサー(アース線タイプ、3端子タイプを選択)
写真	 製品の詳細はこちら▼ 	 製品の詳細はこちら▼ 	 製品の詳細はこちら▼ 	 製品の詳細はこちら▼ 
正面からの寸法(mm)	縦 145× 横 66× 奥行き 55		縦 58× 横 34× 奥行き 28	縦 111× 横 30× 奥行き 45
メーカー名(問合せ先)	(株)リンテック 21 TEL：03-5798-7801		(株)エヌ・アイ・ピー TEL：03-3823-6220	ケー・アイ技術(株) TEL：0598-20-8858
重点対策地域	無償		無償	無償
重点対策地域以外	申請者負担額 1,800円 (送料・税込)		申請者負担額 1,700円 (送料・税込)	申請者負担額 3,900円 (送料・税込)
スイッチの遮断方法	バネの力でブレーカーを遮断		地震の揺れによりおもり玉が落ち、おもり玉の重さで遮断	感震センサーにより、疑似漏洩が起きて漏電遮断器が遮断
取付け方	器具付属のバンドをスイッチに引っかけて固定する。 器具在中の両面テープで、分電盤に貼り付ける。	器具付属のバンドをスイッチに引っかけて固定する。本体 を器具在中の両面テープで、分電盤の外に貼り付ける。	水平器を見ながら位置を調整し、おもり玉を支える台座を分電盤に貼り付ける。 おもり玉が付いたひもにキャップを結び、スイッチにかぶせる。	器具本体が地面と垂直になるように壁止めを行い、アース線を接続しコンセント に差し込む。または3端子コンセントに差し込む。
遮断までの時間	いずれも、揺れを感知した直後		揺れを感知した直後	揺れを感知してから3分後
注意点	<ul style="list-style-type: none">・ 本体を地面と垂直に設置・ 付属バンドで位置を調整・ ふた付きの分電盤の場合ふたを完全に閉められない(ふたを開けたままであれば取付けできる)。		<ul style="list-style-type: none">・ 分電盤の下におもり玉が落ちるための空スペースがあること・ 本体を地面と垂直に設置・ ふた付きの分電盤に対応(ひも部分の隙間は空けておく必要がある)	<ul style="list-style-type: none">・ 漏電遮断器付分電盤の場合のみに作動・ 壁付けするためのスペースが必要・ 壁へのネジ止めが必要・ アース線との接続または3端子コンセントに差し込みが必要・ アース線タイプ、3端子タイプのどちらかを申請時に選択・ 100V のコンセントに差し込み・ 適応主幹ブレーカー定格感度電流 30mA 以下

制度詳細については、横浜市 HP もご利用ください 「横浜市感震ブレーカー HP」
<https://www.city.yokohama.lg.jp/bousai-kyukyu-bohan/bousai-saigai/moshimo/wagaya/jishin/sonae/kanshin.html>



Step 3 申し込み

申込方法

郵送・FAX・E-mail 申込の場合

本紙最終ページの申込書に、必要項目を記入し船山株式会社へ送付します。

- **郵送**：本紙裏表紙の利用申請書を切り取って折り線に沿って折り込み、テープでしっかりと封をした状態で投函
- **FAX**：0258-25-2782 へ送信
- **E-mail**：yokohama-kanshin@funayama.co.jp

電子申請の場合

市ホームページまたは右記の二次元コードから、電子申請フォームにアクセスし、必要項目を入力します。



▲電子申請二次元コード

申込後の流れ ● 混雑状況により申込から配送・取付けまでにお時間がかかる場合があります。

申 込

- 申込方法は上段をご確認ください。
- 申込内容を基に、横浜市が利用可否を決定します。



配送の場合

- 利用決定後、利用決定通知及びご希望の感震ブレーカーをお届けします。
 - 代引きによる配送をします。配達員に器具の代金をお支払い下さい。(重点対策地域の方は無償です。)
 - 届いた器具をご自身で取付けしてください。
- ※配送後に器具の返品や返金はできません。



取付代行の場合

- 申請書の取付希望日に訪問します。
- 希望日時での対応が難しい場合、申請書に記載された連絡先に担当者がご連絡します。



取付訪問

- 取付時間は約30分を予定しています。取付当日は立ち合いをお願いします。
- 器具は訪問日に取付員が持参します。
- 取付員に器具の代金を直接お支払いください。お支払いは現金のみとなります。(重点対策地域の方は無償です。)



注意事項

- 配送後、感震ブレーカーの返品や返金はできません。また、配送された感震ブレーカーの流用や転売は絶対に行わないでください。
- 過去に、感震ブレーカーに関する補助や助成事業をご利用頂いた方はお申し込みできません。
- 生命の維持に直結するような医療用機器等を設置している場合、停電に対処できるバッテリー等を備えてください。
- 取付け後の感震ブレーカーの維持、管理は自己責任でお願いします。
- 賃貸にお住まいの方は原状回復が必要となる場合があるため、貸主等とご相談のうえ、感震ブレーカーを設置してください。

お問い合わせ先・申込先 ● 横浜市より下記の事業者に運営を委託しています。

船山株式会社 〒940-8577 新潟県長岡市稲保 4-720-6

コールセンター：0120-993-918 FAX：0258-25-2782 E-mail：info-yokohama-kanshin@funayama.co.jp

※機種選定にお困りの場合は、上記連絡先にお問い合わせください。

第1号様式(要綱第4条関係)

横浜市感震ブレーカー等設置推進事業に係る助成事業

利 用 申 請 書

年 月 日

(申請先)
横浜市長

横浜市感震ブレーカー等設置推進事業に係る助成事業について、下記の同意事項に同意し、次のとおり申請します。

申請者	(フリガナ)		
住所	重点対策地域にお住まいの方は <input checked="" type="checkbox"/> ⇒ <input type="checkbox"/> チラシ2ページ目の表でご確認ください。		
	〒 横浜市 区		
電話番号	日中、連絡が取れる番号をお書きください	FAX 番号 メールアドレス ※お持ちの方のみ	

希望する助成制度 (必ず、申請する制度に✓を入れてください)

☐ 器具配送

☐ 器具 + 器具取付

(要件：同居者全員が65歳以上、身体障害者手帳・愛の手帳(療育手帳)、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている、介護保険法による要介護、又は要支援の認定を受けている、中学生以下のいずれかに該当すること)

希望する感震ブレーカー (いずれか1つ、希望する製品に✓を入れてください)

※重点対策地域の方は無償です。

☐ ヤモリ.....1,800 円

☐ Ki感震センサーアース線タイプ.....3,900 円

☐ ヤモリ・デ・セット.....2,700 円

☐ Ki感震センサー3端子線タイプ.....3,900 円

☐ スイッチ断ボール.....1,700 円

取付希望日
(取付支援を
選択の方)

投函日・送付日より30日後以降
月 日

取付希望
時間帯

☐ 午前 9時～12時 ・ ☐ 午後 12時～18時

3. 同意事項(同意の上、「はい」に○を付けてください。) → はい

- ・当該制度の利用に伴う感震ブレーカーにかかる損害賠償、取付後に発生した地震や通電火災等の災害で負傷又は死亡した場合において、市、取付事業者は、一切の責任を負わないことに同意します。
- ・配送後の感震ブレーカーの返品や返金、また、転売や流用はいたしません。
- ・横浜市で実施している感震ブレーカーの補助や助成事業を過去に利用していません。
- ・感震ブレーカーの取付時に、照明器具の消灯・電子機器や家具類が一時的に停電することに同意します。
- ・生命の維持に直結するような医療用機器等を設置していません(停電に備えたバッテリーを備えています)。
- ・原状回復義務の必要性等から、貸主等との相談や了承を得ています(賃貸にお住まいの方のみ)。
- ・当該制度を適正に履行できない場合は、器具を返還します。

別紙

家具転倒防止器具を設置して 地震から身を守りましょう

1 取付けを
支援します!



2 さらに! 今年度からは
器具代を補助します!



横浜市 取付けサポート

横浜市にお住まいの**高齢者・障害者等のみで構成される世帯**のみなさんは**補助**があります!
器具代を**重点対策地域**は**全額補助**! それ以外の地域は**一部補助**します!

神奈川県、西区、中区、南区、磯子区の一部

Step 1

申請の要件を
満たしているか確認
※詳細は3ページ参照

Step 2

器具を取り付けたい
家具を検討しよう

Step 3

電子申請で申し込み 5分で完了!
(郵送・FAX でのお申し込みも可能です)



申請期間 令和7年6月1日～令和8年1月31日(必着)

※予算に達し次第、早期に終了となります。
申請はお早めに

必ず折り線に沿って
折り込みをして下さい。

↓折り線①

2018790



東京都狛江市和泉本町4-6-3
横浜市家具転倒防止対策助成事業
横浜事業者
受託事業者
株式会社アイリスプラザ
ユニティ狛江店 行

↑折り線③

↓折り線④

↑折り線②

最後にセロテープでここをしっかりと止めてください。

なぜ家具転倒防止器具が必要？

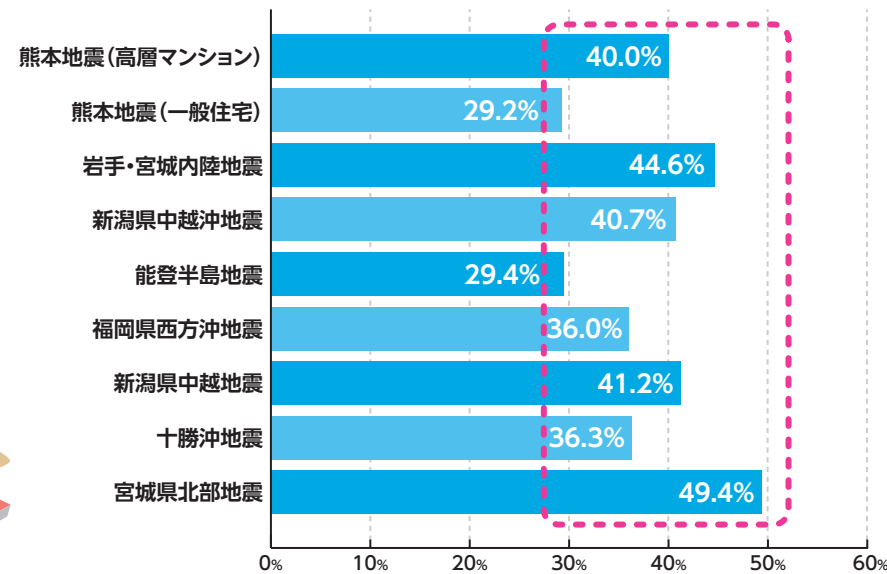
Point
1

けがの原因に

近年発生した地震でけがをした原因の30～50%は家具転倒によるものです。



家具類の転倒・落下・移動による被害



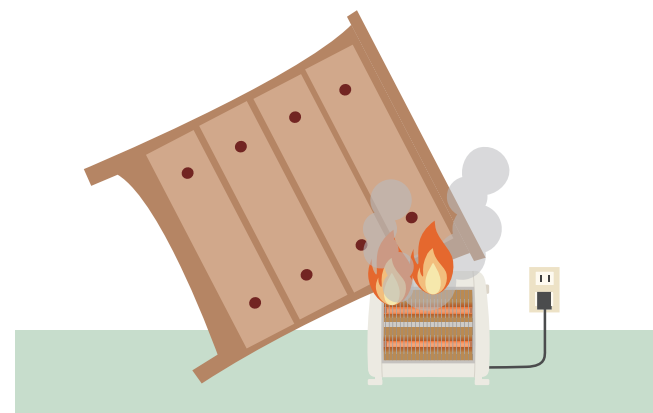
近年発生した地震における家具類の転倒・落下・移動が原因のけが人の割合

出典：東京消防庁『家具類の転倒・落下・移動防止対策ハンドブック』より

Point
2

火災の原因に

転倒・落下した家具などが電気ストーブなどの熱源に接触し、着火するなど火災の原因となることがあります。



Point
3

避難が遅れる原因に

出入口付近に転倒、移動しやすい家具類を置くと、避難経路を塞ぎ、避難の妨げになることがあります。



家具転倒防止対策に関する動画もチェックしましょう！

(提供：防災科学技術研究所 Eーディフェンス)



家具転倒防止器具設置

ご自宅に家具転倒防止器具がついていない場合、この機会にぜひ設置をご検討ください。横浜市が器具代金や取付けをサポートします。

家具転倒防止器具の取付代行

高齢者・障害者等のみで構成される世帯の方へ、家具転倒防止器具の取付を無償で代行します！

申請要件を満たされた方のうち **重点対策地域** の世帯の方は家具転倒防止の器具代金を **全額補助** します

対象商品 家具転倒防止器具（4ページの器具）

対象 右図の重点対策地域にお住まいの世帯の方

申請者負担額 横浜市が器具代金を全額補助します
※予算に達し次第終了

1世帯
家具
2つまで

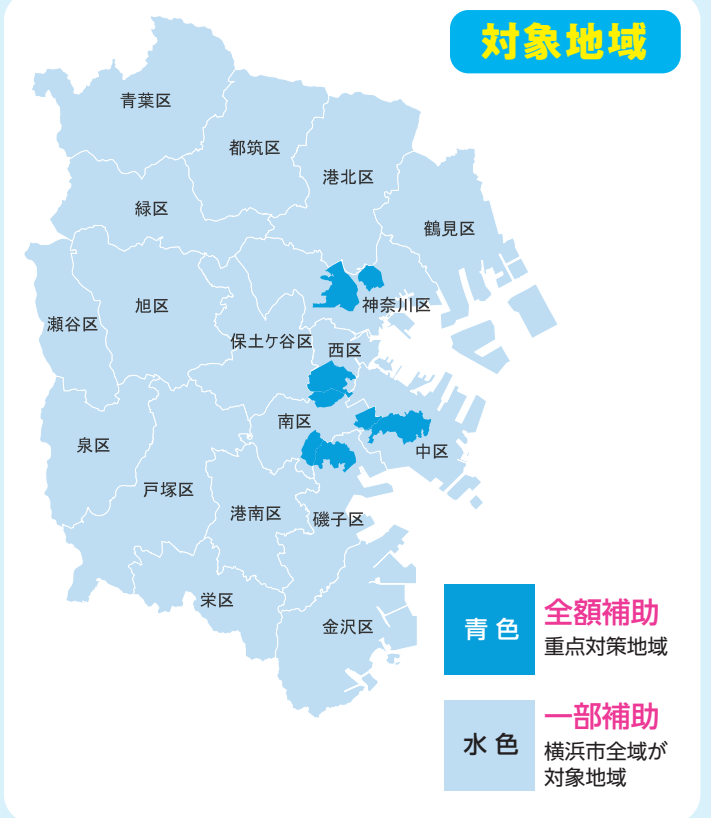
申請要件を満たされた方のうち **重点対策地域以外** の世帯の方は器具代金を **一部補助** します

対象商品 家具転倒防止器具（4ページの器具）

対象 横浜市内にお住まいの世帯の方

申請者負担額 横浜市が器具代金を一部補助します
※予算に達し次第終了
4ページにてご確認ください

1世帯
家具
2つまで



重点対策地域とは？

横浜市では、特に建物が密集しており延焼火災の危険性が高い地域を『重点対策地域』として定め、地震火災対策を重点的に行っています。

重点対策地域一覧

●神奈川区

旭ヶ丘
浦島丘
神大寺1丁目
神大寺4丁目
栗田谷
斎藤分町
白幡上町
白幡仲町
白幡西町
白幡東町
白幡南町
白幡向町
中丸
西大口
西神奈川3丁目
二本榎
白楽
平川町
広台太田町
松本町1丁目
松本町2丁目
松本町3丁目

松本町4丁目
三ツ沢上町
三ツ沢下町
三ツ沢中町
六角橋2丁目
六角橋3丁目
六角橋4丁目
六角橋5丁目
六角橋6丁目

●西区

赤門町2丁目
伊勢町1丁目
伊勢町2丁目
伊勢町3丁目
老松町
霞ヶ丘
久保町
境之谷
中央1丁目
中央2丁目
西戸部町1丁目
西戸部町2丁目
西戸部町3丁目

西前町2丁目
西前町3丁目
浜松町
東久保町
藤棚町1丁目
藤棚町2丁目
元久保町

●中区

赤門町1丁目
上野町1丁目
上野町2丁目
上野町3丁目
大芝台
柏葉
北方町1丁目
北方町2丁目
鷺山
竹之丸
立野
千代崎町1丁目
千代崎町2丁目
千代崎町3丁目

千代崎町4丁目
寺久保
西竹之丸
西之谷町
初音町1丁目
初音町2丁目
初音町3丁目
英町
本郷町1丁目
本郷町2丁目
本郷町3丁目
本牧荒井
本牧町1丁目
本牧町2丁目
本牧満坂
本牧緑ヶ丘
簗沢
麦田町2丁目
麦田町3丁目
麦田町4丁目
矢口台
山手町
大和町1丁目

大和町2丁目
山元町1丁目
山元町2丁目
山元町3丁目
山元町4丁目

●南区

大岡1丁目
大岡2丁目
大岡3丁目
庚台
唐沢
山谷
清水ヶ丘
中村町1丁目
中村町2丁目
中村町3丁目
西中町4丁目
八幡町
伏見町
平楽
南太田1丁目
三春台
若宮町1丁目

若宮町2丁目
若宮町3丁目
若宮町4丁目

●磯子区

磯子8丁目
岡村1丁目
岡村2丁目
岡村3丁目
岡村4丁目
岡村5丁目
岡村6丁目
滝頭1丁目
滝頭2丁目
滝頭3丁目
中浜町
久木町
広地町
丸山2丁目

Step1 申請の要件を満たしているか確認しよう

同居者全員が、
右記のア～カの
いずれかであること

- ア

65歳以上
- イ

身体障害者
手帳の交付を
受けている
- ウ

愛の手帳
(療育手帳)の交付
を受けている
- エ

精神障害者
保健福祉手帳の
交付を受けている
- オ

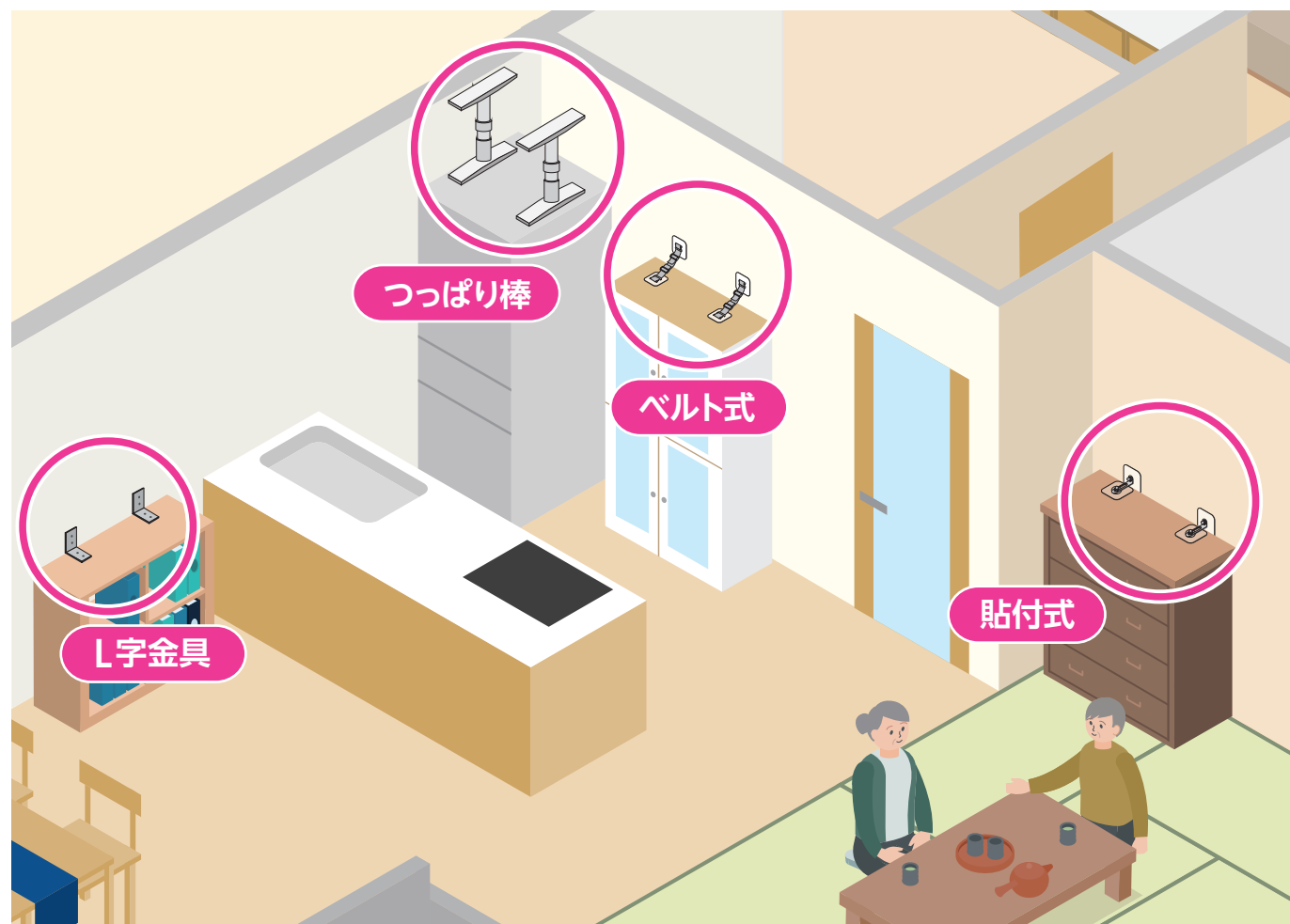
介護保険法による
要介護、又は要支援
の認定を受けている
- カ

中学生以下

「中学を卒業した方」から「64歳以下の方」がいる世帯についてはイ～オに該当しない限り、制度対象となりません。

Step2 器具を取り付けたい家具を検討しよう

事前に器具と取り付けたい家具を想定ください。取付け代行できる家具は2つまでとなります。



「横浜市家具転倒防止対策助成事業 HP」

<https://www.city.yokohama.lg.jp/bousai-kyukyu-bohan/bousai-saigai/moshimo/wagaya/jishin/sonae/kaguten.html>



注意

取り付ける器具は取付員が当日みなさまの自宅の状況及び意向を確認してその場で決定します。※器具の色などの指定はできません。

製品名	写真	申請者負担額 ※横浜市が器具代金の一部を補助した後の金額となります。	取付けの留意事項
つっぱり棒		重点対策地域の方 無償	家具と天井の隙間に取り付けするタイプです。 ネジや釘が不要に付き、賃貸住宅でも取付可能です。
		重点対策地域以外の方 小: 850 円(税込)／個(セット) 中: 935 円(税込)／個(セット) 大: 1,045 円(税込)／個(セット)	
L型金具		重点対策地域の方 無償	壁側と本体にネジで固定をさせるタイプです。 軽めの「書棚」や「食器棚」にお勧めです。
		重点対策地域以外の方 770 円(税込)／個(セット)	
ベルト式		重点対策地域の方 無償	壁側にネジで固定します。 壁と本体をベルトで支えるタイプで、「タンス」や「冷蔵庫」にお勧めです。
		重点対策地域以外の方 880 円(税込)／個(セット)	
貼付式		重点対策地域の方 無償	耐震ゲルマットを使用します。 免震効果が得られ、壁に穴をあける必要がありません。
		重点対策地域以外の方 1,320 円(税込)／個(セット)	

Step 3 申し込み

申込方法

郵送・FAX 申込の場合

本紙最終ページの申込書に、必要項目を記入し株式会社アイリスプラザ ユニディ狛江店へ送付します。

- **郵送**：本紙裏表紙の利用申請書を切り取って折り線に沿って折り込み、テープでしっかりと封をした状態で投函
- **FAX**：03-5438-5515 へ送信

電子申請の場合

市ホームページまたは右記の二次元コードから、電子申請フォームにアクセスし、必要項目を入力します。



▲電子申請二次元コード

取付けまでの流れ ● 混雑状況により申込から取付けまでにお時間がかかる場合があります。

申 込

- 申込方法は上段をご確認ください。
- 申込内容を基に、横浜市が利用可否を決定します。



- 利用決定後、取付訪問日を調整します。
- 申請書に記載された連絡先に、株式会社アイリスプラザ ユニディ狛江店の担当者が連絡いたします。

取付訪問

- 調整した日時に取付員が訪問します。
- 器具は訪問日に取付員が持参し、相談のうえ決定します。
- 取付員に器具の代金を直接お支払いください。(重点対策地域の方は無償です。)
- 取付作業の際に、事業対象者の確認を行います。生年月日が分かる書類、障害者手帳、介護保険証等をご用意ください。



注意事項

- 器具の返品や返金はできません。また、流用や転売は絶対に行わないでください。
- 過去に、本助成事業をご利用頂いた方はお申し込みできません。
- 取付け後の器具の維持、管理は自己責任でお願いいたします。
- 賃貸にお住まいの方は原状回復が必要となる場合があるため、貸主等とご相談ください。
- ご自宅の状況によっては設置できない場合もあります。
- ご自身でご用意いただいた転倒防止器具はお取付けできません。

相談・申込先 ● 横浜市より下記の事業者運営を委託しています。

株式会社アイリスプラザ ユニディ狛江店 〒201-0003 東京都狛江市和泉本町4-6-3
TEL：03-5438-5511 FAX：03-5438-5515 受付時間：平日 10時～17時

この家具転倒防止対策助成事業の対象となる方は、感震ブレーカーの器具購入費の補助と取付代行の対象となります。感震ブレーカーの制度も合わせてご確認ください。

横浜市感震ブレーカー HP



家具転倒防止器具取付申請書

（申請先）横浜市長

横浜市家具転倒防止対策助成事業について、下記の同意事項に同意し、家具転倒防止器具の取付けを申請します。

フリガナ	
申請者	
世帯人数	_____人（下記項目のうち、該当するもの <u>全て</u> に☑をつけてください） <u>同居者全員</u> がいずれかに該当しています。 <input type="checkbox"/> 65 歳以上 <input type="checkbox"/> 身体障害者手帳等の交付を受けている <input type="checkbox"/> 愛の手帳（療育手帳）の交付を受けている <input type="checkbox"/> 精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている <input type="checkbox"/> 介護保険法による要介護者又は要支援者の認定を受けている <input type="checkbox"/> 中学生以下
住所	重点対策地域にお住まいの方は☑ ⇒ <input type="checkbox"/> 〒 横浜市
電話番号	
家屋状況	持家 ・ 借家 （どちらかに○をつけてください）

【注意事項等】

- 取付作業の際は、立会いをお願いします。（後日、電話で日時調整します。）
- 取付作業の際に、事業対象者の確認を行います。生年月日が分かる書類、障害者手帳、介護保険証等をご用意ください。
- ご自身でご用意いただいた転倒防止器具は取付できません。
- 取付代行できる家具は2つまでとします。

【同意事項】

- ①取付後の家具や家屋に関する損害賠償、②取付後に発生した地震等の災害で家具等が転倒し負傷又は死亡した場合において、市、取付事業者及び当該住宅等の所有者に対する損害賠償を請求しません。
- 取付後の家具等の移動及び転倒防止器具の取外しは、自己の責任で行います。

切
り
取
り
線

しゅうろうせんたくしえん 就 労 選 択 支 援 について

しょうがいしゃそうごうしえんほう かいせい ともな あら しょうがいふくし しゅうろうせんたくしえん
障 害 者 総 合 支 援 法 の 改 正 に 伴 い 、 新 た な 障 害 福 祉 サ ー ビ ス と し て 、 「 就 労 選 択 支 援 」
が 創 設 さ れ ま す 。 れい わ ねん が つ ていきようかいし しゅうろうせんたくしえん
令 和 7 年 10 月 か ら サ ー ビ ス 提 供 開 始 と な る 「 就 労 選 択 支 援 」 に つ い
て 、 制 度 概 要 等 を 報 告 し ま す 。

1 しゅうろうせんたくしえん しゆし 就 労 選 択 支 援 の 趣 旨

しゅうろうせんたくしえん しょうがいしゃほんにん しゅうろうさき はたら かた よ せんたく
就 労 選 択 支 援 は 、 障 害 者 本 人 が 就 労 先 ・ 働 き 方 に つ い て よ り 良 い 選 択 が で き る よ
う 、 しゅうろう しゆほう かつよう ほんにん きぼう しゅうろうのうりよく てきせいとう あ
就 労 ア セ ス メ ン ト の 手 法 を 活 用 し て 、 本 人 の 希 望 、 就 労 能 力 や 適 性 等 に 合 っ た
しゅうろうけいしょうがいふくし いっぱんしゅうろう いこう しゅうろう かん せんたく しえん
就 労 系 障 害 福 祉 サ ー ビ ス や 一 般 就 労 へ の 移 行 と い っ た 就 労 に 関 す る 選 択 を 支 援 し ま
す 。

2 たいしょうしゃ 対 象 者

しゅうろういこうしえんまた しゅうろうけいぞくしえん りよう きぼう かたおよ げん しゅうろういこうしえんまた
就 労 移 行 支 援 又 は 就 労 継 続 支 援 の 利 用 を 希 望 す る 方 及 び 現 に 就 労 移 行 支 援 又 は
しゅうろうけいぞくしえん りよう かた たいしょう れい わ ねん が つ い こ う あ ら しゅうろうけいぞく
就 労 継 続 支 援 を 利 用 し て い る 方 を 対 象 と し ま す 。 令 和 7 年 10 月 以 降 、 新 た に 就 労 継 続
しえんびーがた りよう しんせい まえ げんそく しゅうろうせんたくしえん りよう ひつよう
支 援 B 型 の 利 用 を 申 請 す る 前 に 、 原 則 と し て 就 労 選 択 支 援 の 利 用 が 必 要 で す 。

ぐたいてき じこう ひょう
具 体 的 に は 次 項 の 表 の と お り で す 。

サービス類型 ^{るいけい}	あら ^{あら} 新たに利用 ^{りよう} を希望 ^{きぼう} する方 ^{かた}	すで ^{すで} に利用 ^{りよう} しており、支給 ^{しきゅう} けっ ^{けつ} てい ^{こうしん} の更新 ^{きぼう} を希望 ^{かた} する方
しゅうろうけいぞく しえんぴーがた 就労継続支援B型		
すべ ^{すべ} たいしょうしゃ 全ての対象者 (い ^い か ^か ①・②の方 ^{かた} は除 ^{のぞ} く)	れい ^{れい} わ ^わ ねん ^{ねん} がつ ^{がつ} 令和7年10月から げんそくりよう 原則利用	きぼう ^{きぼう} おう ^{おう} りよう ^{りよう} 希望に応じて利用
①さい ^{さい} たつ ^{たつ} している方 ^{かた} ま たはしょうがい ^{しょうがい} き ^き そ ^そ ねんきん ^{ねんきん} きゅう ^{きゅう} 障害基礎年金1級 じゅきゅうしゃ 受給者 ②しゅうろうけいけん ^{しゅうろうけいけん} かた ^{かた} 就労経験がある方 (しゅうろうけいけん ^{しゅうろうけいけん} ねんれい ^{ねんれい} (就労経験があつて年齢 やたいりよく ^{たいりよく} めん ^{めん} いっぽんきぎょう ^{いっぽんきぎょう} や体力の面で一般企業に こよう ^{こよう} こんなん ^{こんなん} 雇用されることが困難に なつた方 ^{ほう})	きぼう ^{きぼう} おう ^{おう} りよう ^{りよう} 希望に応じて利用	
しゅうろうけいぞく しえんえーがた 就労継続支援A型		
すべ ^{すべ} たいしょうしゃ 全ての対象者	れい ^{れい} わ ^わ ねん ^{ねん} がつ ^{がつ} 令和9年4月から げんそくりよう 原則利用	きぼう ^{きぼう} おう ^{おう} りよう ^{りよう} 希望に応じて利用

サービス ^{るいけい} 類型	あら ^{りよう} 新たに利用を希望 ^{きぼう} する方 ^{かた}	すで ^{りよう} 既に利用しており、支給 ^{しきゅう} けっ ^{てい} 定の更新 ^{こうしん} を希望 ^{きぼう} する方 ^{かた}
しゅうろういこうしえん 就 労 移 行 支 援		
すべ ^{たいしやうしゃ} 全ての対象者	きぼう ^{おう} 希望に ^{りよう} 応じて利用	れいわ ^{ねん} 令和9年4月から げんそくりよう 原則利用 ※ ^{ひやうじゆんりようきかん} 標準利用期間 (2 ^{ねん} 年)を ^こ 超えて更新 ^{こうしん} を きぼう ^{かた} 希望 ^{かた} する方

3 ^{ないようとう}内容等

(1) ^{しえんないよう}支援内容

① アセスメント

たんきかん^{せいさんかつどうとう} 短期間の生産活動等を通じて、しゅうろう^{かん} 就 労 に関する適性^{てきせい}、知識^{ちしき}及び能力^{およ} の評価^{のうりよく}並びに^{ひやうかなら}

しゅうろう^{かん} 就 労 に関する意向^{いこう}等の整理^{とう} ^{せいり}

② ^{た き かんれんけい}多機関連携によるケース会議^{かいぎ}

アセスメント結果^{けっ か}の作成^{さくせい}に^あ当たり、利用者^{りようしゃ}及び関係機関^{およ かんけいきかん}を 招 集^{しょうしゅう}し、利用者^{りようしゃ} の

しゅうろう^{かん} 就 労 に関する意向^{いこう}確認^{かくにん}を行うとともに^{おこな}担当者等^{たんとうしゃとう}から意見^{いけん}聴 取^{ちやうしゆ} を実施^{じっし}

③ ^{けっ か}アセスメント結果(アセスメントシート)の作成^{さくせい}

ケース会議^{かいぎとう}等での意見^{いけん}等もふまえ、アセスメント結果^{けっ か}を作成^{さくせい}

④ 事業者等との連絡調整

アセスメント結果を踏まえ、必要に応じて関係機関等との連絡調整を実施

(2) 支給決定

他の障害福祉サービス同様、就労選択支援を利用する場合には、区役所でのサービス支給決定が必要です。就労選択支援の支給期間は原則1か月です。

4 今後のスケジュール（予定）

令和7年5～7月 区役所や関係機関（特別支援学校等）との調整

6月末 事前相談受付〆切（10月開設希望事業所）

8月末 指定申請書提出期限（10月開設希望事業所）

※就労選択支援の利用を希望する方からの「障害福祉サービス等支給申請書」の各区

役所への提出時期等については現在調整中です。

担当 健康福祉局障害施設サービス課 電話 045-671-3607 F A X 045-671-3566